

Social

労働安全衛生

社会課題に対する考え方

労働災害防止とともに、長時間労働による過労死やメンタルヘルス不調が社会問題としてクローズアップされ、社員が安心して健康に働くことができる職場環境の実現が求められています。アンリツグループとしても、価値創造の源となる社員の労働安全衛生環境の整備・充実を重要課題として認識しています。約4,000名の社員一人ひとりが健康で活き活きと働き、活力のある職場を実現させることで生産性が向上し創造性が高まり、より良い企業活動につながると考えています。

全世界で蔓延している新型コロナウイルス感染症については、2020年1月31日に新型コロナウイルス対策本部を設置し、対応策を継続しています。

P.081

事業継続マネジメント 感染症対策

方針

アンリツグループは、社員一人ひとりが、その資質を最大限に発揮できるよう、社員の安全と健康を第一に、快適で活き活きと働くことができる職場環境づくりを進めていくことが重要であると考えています。それを実現していくために、グループ企業行動憲章では「従業員の尊重」を、グループ行動規範では「職場環境の整備」を掲げ、関係法令を遵守し、健康と安全に配慮した職場環境を整備することを定めています。

また、社員一人ひとりの健康保持・増進に、会社・健康保険組合それぞれの立場でより積極的に関与していくために、国内アンリツグループを対象とした「アンリツグループ健康経営方針」を定めています。

アンリツグループ健康経営方針

アンリツグループは、社員一人ひとりが健康で活き活きと働いていることが、企業価値の源泉であると考えています。全ての社員が健康について関心を持ち、自身の健康上の課題を認識し、健康保持・増進に向けて自律的な取り組みを進めている状態を目指し、アンリツグループ各社とアンリツ健康保険組合が一体となり、健康経営の実現に向けた活動を進めます。

体制

国内アンリツグループでは、アンリツ(株)の安全衛生担当役員が安全衛生の最高責任者を務め、グループ共通の安全衛生に関する事項の決定、実施の指示を行っています。また、関係法令に準拠した安全衛生管理体制を確立しています。

定期的な職場巡視や各種健康診断・ストレスチェック後の事後措置、心身の健康に関する個別相談への対応など、グループ社員の健康保持・増進に向けたさまざまな取り組みでは、アンリツ(株)健康管理室に所属する複数の産業医・産業カウンセラーを中心とする産業保健スタッフによる支援体制を構築しています。

また、アンリツ(株)は、労使合同の安全衛生委員会を月次で開催しています。委員会の構成は次ページ表の通りとなっており、国内アンリツグループ全体での情報共有や施策などの水平展開が総合的に図られる仕組みとなっています。委員会で審議された内容は、議事録とともにイントラネットを通じ、全ての社員に開催後速やかに開示・周知されています。

■ アンリツ(株)安全衛生委員会構成(2019年度)

委員長	総括安全衛生管理者(安全衛生担当役員)
副委員長	2名(うち1名はアンリツ労働組合が選出)
委員	8名(うち4名はアンリツ労働組合が選出)

上記の他、産業医、国内アンリツグループ会社社員、健康保険組合役員、委員会事務局メンバーが参加しています。なお、アンリツ労働組合は、アンリツ(株)とユニオンショップ協定を締結している労働組合です。

アンリツ(株)は、アンリツ労働組合と締結している労働協約の中で、安全衛生についても必要な事項を協定しています。具体的には、安全確保や健康保持・増進に向けた事業主としての適切な措置の履行、安全衛生委員会の設置と委員選出基準、教育や健診の実施、危険・有害業務に対する就業制限などを規定しています。なお、国内アンリツグループの社員が従事する業務は、特定の疾病の発症率や発症リスクが高い業務に該当しません。

目標

安全に関する目標：

国内アンリツグループは、災害発生ゼロを目標とする。

健康管理に関する目標：

国内アンリツグループは、2018年度から2020年度までの3カ年を計画期間とした健康経営中期計画に基づいて目標達成に向けた活動を継続する。

■ 健康経営中計進捗

	主要課題	KPI	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度目標
1	当面の安定的・継続的就業や将来の健康維持にリスクのある層の極小化・維持	☆糖代謝有所見者比率(HbA1c 5.6%以上)	42.0%	43.4%	44.5%	40%以下
		☆高血圧判定者比率(血圧140/90以上)	9.9%	9.4%	9.7%	2017年度水準維持
		★メンタル休業率(期末時点休業者比率)	0.4%	0.4%	0.4%	2017年度水準維持
2	定期健診有所見率改善	☆定期健診有所見率	57.9%	57.9%	59.9%	59%以下
3	健康意識の高揚	☆適正体重維持者率(40歳以上)	67.7%	68.4%	67.2%	69%以上
		☆運動習慣者比率(40歳以上)	26.5%	27.0%	28.6%	28%以上
4	健康経営の定着	健康経営優良法人認定	認定	認定	認定	認定の継続

☆:本社地区(神奈川県)の定期健診結果に基づく値 ★:国内アンリツグループ連結の値

P.064 データ集(Social)労働安全衛生関連数値

取り組み/活動実績

安全の目標に対する結果と主な対策

2019年度は、不安全行動に起因した休業災害3件、不労災害1件の発生があり、目標は達成できませんでした。

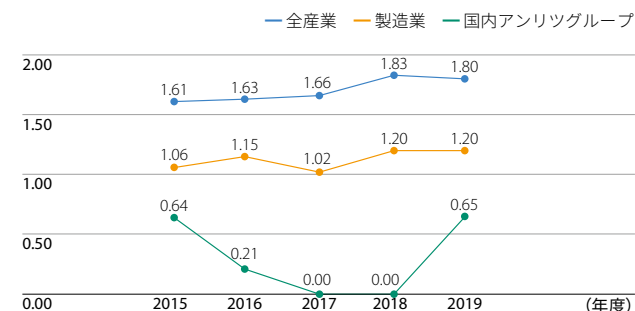
各事案については、発生後直ちに作業手順(方法)の見直しやハード対策、RA(リスクアセスメント)を実施し、再発防止の徹底に努めています。2020年度は、改めて国内アンリツグループ全体で労働災害ゼロを目指し、活動を進めています。また、通勤途上災害に関して

は、2019年度、国内アンリツグループ全体で6件発生し、そのうち休業に至る災害が2件発生しました。主な要因は歩行中の躓きによる転倒や自転車走行中のブレーキ操作による転倒事故です。歩行中や自転車(車両を含めた)運転中における一層の安全意識(危険予知)の向上に取り組めます。

■ 国内アンリツグループ労働災害の発生状況(2019年度)

種別	件数(前年度比)
休業災害	3(+3)
不労災害	1(-5)
通勤途上災害	6(+2)
うち 休業(1日以上)に至る通勤途上災害	2(-1)

■ 労働災害度率推移(100万時間当たり)



労働基準に関するイニシアチブへの参加

アンリツ(株)人事総務部人事労務チーム部長が、2018年度より(公社)神奈川労働安全衛生協会理事および厚木支部副支部長を務め、県内・地域の労働安全衛生水準の向上に貢献しています。

OHSAS 18001の認証取得状況

Anritsu EMEA Ltd.(英国)は2012年5月、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるOHSAS 18001:2007の認証を取得し、2018年5月に更新しました。この規格に則り、「健康と安全に関するリスク識別と管理」「事故が発生する可能性を低減」「法令遵守の補助」「全体のパフォーマンス向上」を支援する枠組みを規定し、安全で健康的な職場環境づくりを推進しています。



健康経営優良法人2020認定

アンリツ(株)は、経済産業省の「健康経営優良法人2020」において、定期健康診断・ワークライフバランス・健康増進・生活習慣予防対策・メンタルヘルス制度・施策の実施状況などが、選定基準をクリアしたことから、大規模法人部門(ホワイト500)に4年連続で認定されました。

健康経営優良法人認定制度は、健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みのもと

に、優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」のフレームワークである、①経営理念、②組織体制、③制度・施策実行、④評価・改善、⑤法令遵守・リスクマネジメントからなる5つの評価項目を用いて認定されます。



従業員の健康のための働き方改革

国内アンリツグループでは、社員の健康と安全を第一に、生産性を向上させてイノベーションを起こし、企業価値向上へつなげることを目的とした働き方改革を推進しています。健康障害の原因となる長時間労働に対しては、時間外労働の削減、深夜時間帯勤務の極小化、定時退社日運用の徹底など、全社共通マネジメント方針に基づく労働時間適正化施策を継続的に進めています。

「長時間労働＝仕事ができる」という認識はもはや過去のものであるという認識に立ち、始業時間出社の励行、19時以降原則退社とし消灯を実施、会議時間の短縮・効率化の推進などの施策を強化し、生産性向上を図っています。開発部門では、海外との時差により夜間・早朝に発生する業務において、負荷軽減のため在宅勤務を導入しています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として国内アンリツグループ全体で実施したテレワークについては、社員の健康を守るための働き方改革の施策の一つとして、

継続しています。

研修・セミナーの実施

国内アンリツグループは労働安全衛生に関する各種研修やセミナーを実施しています。2019年度は睡眠セミナーや女性対象とした健康啓発セミナーを実施するとともに、食育にも目を向けたセミナーも実施しました。また、継続的な課題となっている糖代謝有所見者比率の減少について、糖尿病予備軍を対象としたミニ健康教室を実施するなど、社員の健康意識の啓発を主眼においた取り組みを進めています。



食育セミナー

国内アンリツグループ社員を対象とした、主なセミナー、講習、教育の実績 (延べ参加人数合計：868人) (2019年度) (単位：人)

教育内容		参加人数
社内 オープンセミナー	女性向け健康セミナー	50
	睡眠セミナー	81
	食育セミナー	57
	防災教育セミナー	450
社内講習、教育	交通KY(危険予知)研修会	26
	普通救命講習	24
	自転車安全運転研修会	66
	新入社員安全衛生教育	53
	新入社員労働衛生教育	54
	新入社員安全衛生教育(外国籍社員)	7



その他の労働安全衛生

労働安全衛生全般

- 安全衛生委員会を通じた活動状況の確認や災害防止策の立案
- 階層別教育やリスクアセスメントなどの目的別研修を通じた安全衛生意識の向上
- 正社員の他、契約・パート・派遣社員に対する雇入時の労働安全衛生教育の実施

「安全」に重きを置いた取り組み

- 機械設備の新規導入・移動・変更時および化学物質購入時の事前審査による災害リスク低減
- 作業環境測定や職場巡視、防災訓練、防災教育や普通救命講習を通じた安全・安心で快適な職場づくり

「健康」に重きをおいた取り組み

- 各種健康診断（定期、特殊、雇入時、海外赴任者）、ストレスチェック制度の実施とフォローアップ
- 長時間残業者の問診票によるスクリーニングと産業医面談および健康確保措置の実施
- メンタルヘルスケアを目的とする幹部職向け教育、カウンセリング